

神戸大学総合情報処理センター

センターニュース抄録

The Kobe University Information Processing Center News
No.96 ~ No.104

目次

No.96 (1996/2/26)

1. センター本館及び分館のサービス時間について
2. 計算機利用料金の通知について
3. センター案内

No.97 (1996/5/31)

1. ACOSから新システムへの移行について
2. 利用者の皆さまへのお知らせとお願い

No.98 (1996/6/26)

1. 夏期休暇中のセンター分館の閉館について
2. 停電に伴うサービス停止について
3. カラーコピーシステム CC-S7000 について
4. 「総合情報処理センター・夏期講習会」のお知らせ
5. ACOS接続用モデム番号廃止について

No.99 (1996/8/22)

1. 数式処理システム「Mathematica」利用のご案内
2. 夏季休暇中のセンター分館閉館について（再掲）
3. 夏期講習会（前半の部）の結果報告
4. 夏期講習会（後半の部）開催のお知らせ

No.100 (1996/11/1)

1. 新システムについて
2. ACOSから新システムへの移行について
3. センター本館端末機の一部撤去について
4. センターサービス時間の変更について
5. 夏期講習会（後半の部）の結果報告

No.101 (1997/5/19)

1. センター本館及び分館の利用について
2. パスワードの変更方法

No.102 (1997/7/29)

1. 新システムについて
2. ACOSから新システムへの移行について
3. 数式処理システム「Mathematica」利用のご案内
4. 「総合情報処理センター・講習会」の結果報告
5. 学生ID配布の結果報告

No.103 (1997/9/18)

1. センターサービス時間の変更について
2. 夏期講習会の結果報告
3. 研究開発テーマ募集のお知らせ
4. 数式処理システム「Mathematica」の利用について
5. センターのマシンで大規模な計算をされるユーザーの方へ

No.104 (1997/12/3)

1. 年末年始におけるサービス時間の変更について
2. メンテナンスに伴うサービス停止について
3. 講習会開催のお知らせ
4. ダイアルアップ接続に関するお知らせ
5. センターホームページ更新のお知らせ

1. センター本館及び分館のサービス時間について

2. 計算機利用料金の通知について

現在、計算機利用料金については、3か月ごとに通知書を発送することとなっておりますが、ユーザーの皆さまが随時に課金額を知ることのできるリソース表示機能として、ACOS 上での **MONI** コマンド、EWS 上での **reso** コマンドがありますのでご利用下さい。

3. センター案内

[1] 館内の利用

[2] 利用可能な計算機

[3] センターからの連絡・案内

[4] KHANダイアルアップ接続サービス

[5] プログラム相談メーリングリストのご案内

センターでは、プログラム相談用メーリングリスト **progqa@kobe-u.ac.jp** を運用しています。このメーリングリストは「センター機器に関すること」、「各種ソフトウェア、ハードウェアに関すること」、「ネットワークに関すること」など、計算機やネットワークの利用に関するあらゆる問題に関して質問したり、(知っていることがあれば) 回答する、電子メールユーザのグループです。電子メール利用者ならどなたでも登録できますので、奮ってご参加ください。

★ メーリングリスト名: **progqa@kobe-u.ac.jp**

★ 参加方法: 以下のどちらの方法でも受け付けます。

その1) **progqa-admin@kobe-u.ac.jp** 宛に「progqa 参加希望」と書いたメールをお送りください。メーリングリスト世話人が登録いたします。

その2) 自動登録の機能も利用できます。

「# on」と書いただけのメールを **progqa@kobe-u.ac.jp** 宛に送ると自動登録されます。

```
=====
<例> To: progqa@kobe-u.ac.jp
      Subject: ( Subject は、関係ありません。)
      --Text follows this line--
      # on      (# と on の間には、1スペース必要です。)
=====
```

の様に「--Text follows this line--」のすぐ次の行に、「# on」と書いて下さい。

★ メーリングリストの記事を受けたくなくなったときは、**progqa-admin@kobe-u.ac.jp** 宛に「progqa 脱会希望」と書いたメールをお送りください。

★ 「# help」と書いただけのメールを **progqa@kobe-u.ac.jp** 宛に送ると、「#」で始まるメール(コマンドメール)

のその他の利用法が配送されますので、参考にして下さい。

[6] センターニュース入手方法

センターではセンターニュースを発行しています。利用者の方へのセンターニュースの配布は、基本的に電子メール(**icluna・mars3** 宛)での発送のみとさせていただきますが、書面での個別発送を希望される場合は、申し込み用紙に必要事項を記入の上、センター本館事務室までお申し込みください。(電子メールでも受け付けています。)

お申し込み・お問い合わせは、センター業務掛(内線:2915 e-mail: **ipcnews@teabreak.kobe-u.ac.jp**)までお願いいたします。

※ センターニュースは、電子メールでの個別送付のほか、WWWでもご覧になれます。

[7] ワークステーション利用にあたっての注意

センターのワークステーションをお使いの際、以下の点についてご協力お願いいたします。

① パスワードについて

初期パスワードはセンターが設定していますが、パスワードは最初のログイン時に至急変更して下さい。不正利用防止の為に、パスワードは長期間同一のものを使わず、ときどき変更して下さい。

② Disk容量について

センターでご利用いただいているワークステーションは、いずれも使用容量の制限は行っておりませんが、各機器ともにDisk容量がかなりひっ迫しております。ファイルの圧縮・不要なファイル (core ファイルなど) の削除など、容量削減にご協力をお願いします。

★ ファイルの圧縮について

- ◇ gzip [file名] → “gz” という拡張子が付く。

解凍方法

gzip -d [file名] または gunzip [file名]

- ◇ compress [file名] → “Z” という拡張子が付く。

解凍方法

uncompress [file名]

gzip -d [file名] または gunzip [file名] でも解凍できる。

(gzip で圧縮したファイルを、uncompress で解凍することはできない。)

※ 拡張子 “.gz” “.Z” を変えると解凍できなくなりますので、拡張子を変えないようにしましょう。又、効率は gzip の方が、compress より良いようです。

★ core ファイルの削除について

システムが異常終了した時などに core ファイル ができることがあります。これは、大変容量の大きいファイルで、通常解読が困難なファイルです。自分のホームディレクトリに core ファイル ができてしまった場合は、限りあるみんなのディスクですので、まめに消して下さい。

[8] 電子メールをお使いの皆さまへ

★ ためずに消そう

Disk は共有です。読み終わったメールはむやみに置いておかないで、こまめに消去して下さい。

★ mailall についての注意

mailall は全利用者あての連絡専用メーリングリストです。機器の停止など、センターからのお知らせは、mailall メーリングリストにてお伝えします。又、mailall 宛のメールを単純にリプライ (返答) すると、全利用者に送付されてしまいますのでご注意ください。

No.97 (1996/5/31)

1. ACOSから新システムへの移行について

本年末に、センターの大型計算機を含むシステム (ACOS や CONVEX 等) がリプレースとなり、来年1月より UNIX ベースの新システムへと移行する予定になっています。そのため、現在利用されている ACOS 上のバイナリのプログラムやデータは、新システム上では使用できなくなります。そこで、利用者の方々に以下のような移行措置をとって頂く必要があります。

[1] データについて

バイナリデータは、テキスト形式 (書式付き出力) に変換して下さい。

ACOS では、FTP コマンドがサポートされていますので、テキスト形式のデータは、他のマシンに簡単に転送できます。

センターで一般に利用できるワークステーションとしては、comet(133.30.20.230)あるいは mars(133.30.10.40~43)があります。また、現在 MT の形で保管されている ACOS フォーマットのデータをお持ちの方も同様に、そのデータを変換していただく必要があります。

[2] プログラムについて

利用者の方が ACOS 上で作成したオブジェクトファイルや実行ファイルは、新システム上では動作しません。プログラムの移行は、ソースの形で行う必要があります。ソースプログラムも、ACOS 固有の機能を使用している

と、そのままでは動かないおそれがあります。システムの入替えまでに、適当な UNIX システム環境にプログラムを転送し、動作テストを行われる事をお勧めします。動作テストは、FTP コマンドで UNIX ワークステーションに移動させた後、再コンパイルしてご確認下さい。

コンパイルコマンドは、comet では /usr/convex/fc

mars 系 では /usr/bin/f77 です。

細かい言語仕様の相違などのため、うまく実行できない場合にはセンターに御相談ください。

[3] ACOS 退避ファイル

スプールシステムによるファイル退避を行われている方は、その退避テープの内容を次期システムで利用することはできません。一度システム上に復元した後で、上記[1]にそった処理をして下さい。

現在、ACOS 上で使用されている一般のアプリケーションが移行後どうなるかにつきましては、今後センターニュース等でお知らせする予定です。

また、ACOS へ直接入る公衆回線サービスは中止されます。公衆回線接続をされる場合は、KHAN (外線:078-871-6401, 内線:2961, 2962) に接続してご利用下さい。

なお、近くホームページに新システムへの移行に関する Q & A のコーナーも設ける予定ですので、そちらも参考にいただければ幸いです。

2. 利用者の皆さまへのお知らせとお願い

No.98 (1996/6/26)

1. 夏期休暇中のセンター分館の閉館について

2. 停電に伴うサービス停止について

3. カラーコピーシステム CC-S7000 について

センターに、カラーキャナー&プリンターが導入されているのをご存じですか。A0サイズのコピー・印刷も可能と、かなり性能が高いものです。センター利用資格のある方なら、予算組み替えの形でご利用頂けます。どんどんご利用ください。

[1] 機能など

原稿読み取り方式：光電子増倍管による反射読み取り

原稿サイズ：最大 915 × 1220 mm (A0サイズ)

原稿読み取り密度：最高 2400 dpi

倍率：20 ~ 6400% (縦・横独立設定可能)

記録方式：インクジェット

記録紙サイズ：最大 915 × 1220 mm (A0サイズ)

カラー再現：Y, M, C, K 各色 256階調
1640万色 フルカラー

用紙サイズ：920mm幅 150m ロール紙
BPF (A0サイズ)

記録密度：300 dpi 254 dpi 切り替え

記録時間：16分/A0サイズ (254 dpi)

機能：濃度調節 ハイライト部7階調, シャドウ部7階調
シャープネス調整7階調 (光学式エッジ強調)

[2] 性能

- 1) 原版を基に拡大、縮小コピー (上記、倍率参照)
- 2) A0 以上のコピー (分割複写後、貼り合わせ)
- 3) 複数コピーできます (倍率にもよりますが、A0 用紙に複数枚コピーが可能。例えば、A1 なら 2 枚、A4 なら 16 枚)
- 4) ミラーコピーもできます
- 5) MAC のデータを出力できます
- 6) 写真も拡大、縮小、複数コピーできます

[3] 費用

予算組み替えの形になりますので 3 ヶ月に一度の請求 (計算機利用料金の消耗品の欄に記載されます) となります。

料金は、A0 サイズの出力で、1 枚 = 5,000 円 (通常紙)

6,000 円 (光沢紙) です。

[4] 利用の手続き

本館事務室に備え付けの利用申請書がありますので、必要事項を記入・捺印し、提出してください。

4. 「総合情報処理センター・夏期講習会」のお知らせ

総合情報処理センターでは、夏期講習会を下記プログラムの要領で開催します。受講希望の方は、添付の申込書に記入の上、kuipc@kobe-u.ac.jp 宛にお送り下さい。[申し込み締め切り: 7 月 4 日 (木)]

なお、今回の受講申し込みは、7 月開催分のみとし、9 月開催分については再度ご案内申し上げます。実習形式のものは、定員以上の申込があった場合、調整させていただきますのでご了承ください。

又、7 月 10 日・12 日の講習内容は同じです。どちらか一方にお申し込み下さい。

講習会についてのお問い合わせは、

☆ 総合情報処理センター・陰山

☆ 内 線 : 2915

☆ E-mail : kageyama@kobe-u.ac.jp までお願い致します。

講習会プログラム

プログラムに記載の「場所」は、以下の番号をご参照下さい。

場所 : (1) 瀧川記念学术交流会館

(2) 工学部システム棟・情報コンセント教室 S209 (WS 40 台)

(3) 総合情報処理センター分館 3F 会議室

◇◇受講申込受付分 (7 月開催分)◇◇

● 7/9 (火)

申込 番号	日時	タイトル 予定内容	講師 (所属) <敬称略>	場所
[1]	10:00- 12:00	自宅から KHAN へのアクセス法 自宅の機器から KHAN へのアクセス 方法、機器の設定などを PPP 接続 を中心にわかりやすく解説	中村 (センター) 西村 (工学部)	(1)
[2]	13:00- 15:00	新しい学内ネットワーク KHAN96 新たに導入される ATM ネット ワークについての概説	未定	(1)

● 7/10(水)

申込 番号	日時	タイトル 予定内容	講師 (所属)	場所	定員
[3]	10:00- 12:00	はじめて使う e-mail, ftp, www センター機器を利用した e-mail, ftp, www browser の使用法の紹介	青山・西牧 陰山(センター)	(2)	40
[4]	13:00- 15:00	UNIX基礎の基礎 「Xを使いこなそう」 Xwindow に関する基礎知識や 基本的な使用法などを解説 受講者条件：UNIX の基本コマンドが使える エディタ(vi もしくは emacs)が使える	浦岡・辻 町田(センター)	(2)	40

● 7/12(金)

申込 番号	日時	タイトル 予定内容	講師 (所属)	場所	定員
[5]	10:00- 12:00	はじめて使う e-mail, ftp, www センター機器を利用した e-mail, ftp, www browser の使用法の紹介	青山・西牧 陰山(センター)	(2)	40
[6]	13:00- 15:00	UNIX基礎の基礎 「Xを使いこなそう」 Xwindow に関する基礎知識や 基本的な使用法などを解説 受講者条件：UNIX の基本コマンドが使える エディタ(vi もしくは emacs)が使える	浦岡・辻 町田(センター)	(2)	40

◇◇ 9月開催分(予定) ◇◇

日時	タイトル 予定内容	講師 (所属)
10:00- 12:00	新システム紹介 年末に納入される新システムの概要を紹介	未定
13:00- 15:00	VOD活用法 端末から、自分の好みの画像・音声 を自由によびだせる ビデオ オン デマンド システムの使用法を紹介する	未定

日時	タイトル 予定内容	講師(所属) <敬称略>
10:00- 12:00	スターターズ7点セット Mac 編(講義) Mac でネットワークを! という方の為の Telnet, FTP, mail, News, WWW, Terminal, PPP(Mac/TCP)の初心者向け解説	泉 孝典 他 (自然科学)

13:00- スターターズ7点セット Mac 編 (演習) 田中 美名 他
16:00 機器設定などから実習 (松蔭女子大学)

* 同内容で2回行う予定です。

5. ACOS接続用モデム番号廃止について

ACOS3900 接続用モデム番号(局線:881-5903, 内線:2950~2953)は8月1日をもって廃止とさせていただきますのでご了承ください。なお、自宅からACOSに接続される場合は、一度KHANに接続の上、telnetで接続してください。

No.99 (1996/8/22)

1. 数式処理システム「Mathematica」利用のご案内

平成7年6月1日より、総合情報処理センターが窓口となり、数式処理システム「Mathematica」のキャンパス・ライセンスを取得しています。これに伴い、学内すべてのコンピュータ(ただし、後述の[7] Mathematica 対応機器一覧 にリストアップされているものに限る)で、個別に購入しなくとも、Mathematica を利用することが可能になっています。

つきましては、本年度も引き続き下記の要領でソフトウェアを配布致しますので、ソフトウェア入手ご希望の方は、センター本館事務室にある所定の申請書にてお申し込み下さい。

[1] 利用条件

- 利 用 者 : 神戸大学に所属している者(教官、職員、学生など)
利 用 マ シ ン : 神戸大学が管理しているマシン
場 所 : 神戸大学内
ライセンス期限 : 平成9年3月31日(年度ごとに更新を要します)

[2] 申請方法

申請方法は、2種類あります。

(その1) 総合情報処理センター本館事務室にある所定の申請書にてお申し込み下さい。

(その2) math-admin@kobe-u.ac.jp 宛に電子メールで、申請書を請求して下さい。学内便にて申請書をお送り致します。

[3] ソフトウェア配布方法

- ・パソコン用のパッケージは、センター本館事務室にてフロッピーディスクを貸し出します。
- ・ワークステーション用パッケージは、ftpにて入手して頂きます。
- ・インストール方法等の詳細につきましては、パッケージとともに配布します。

[4] 利用負担金

- ・ワークステーションライセンスサーバ 10,000 円
- ・ワークステーションクライアント 2,000 円
- ・パーソナルコンピュータ 2,000 円

※ センター利用料と同様、予算組み替えにより、年間一括払いで徴収します。

[5] 利用申請に関する問い合わせ先

Mathematica 利用申請に関するお問い合わせは、

☆ 総合情報処理センター 業務掛

☆ TEL : 803-0191 もしくは 内線 2912

☆ FAX : 803-0193 もしくは 内線 2930

☆ E-mail : math-admin@kobe-u.ac.jp までお願い致します。

[6] ユーザの情報交換用メーリングリスト

神戸大学では、Mathematica ユーザの情報交換を目的としたメーリングリストが運営されています。

Mathematica@godel.seg.kobe-u.ac.jp 宛にメールを送ると、メーリングリストに登録されている方全員に、同じ内容のメールが自動配送されます。利用申請されたマシン管理者の方は、このメーリングリストに登録されます。それ以外の方で、メーリングリストへの登録を希望される場合は、「Mathematica メーリングリストへの登録希望」と明記の上、Mathematica-admin@godel.seg.kobe-u.ac.jp に、氏名・所属・メールアドレスを記入したメールをお送り下さい。

なお、Mathematica の利用方法については、センターの広報誌「MAGE Vol.18 NO.1 1995.10 (25)」P.97～125 『数式処理システム Mathematicaについて』にも紹介されていますので、興味のある方は是非ご覧下さい。

[7] Mathematica対応機器一覧

1. Macintosh Standard (MacLC2以上)
2. Macintosh Enhanced (MacLC2以上、PowerPC)
3. MS-DOS Standard (数値演算プロセッサ 無)
4. MS-DOS Enhanced (数値演算プロセッサ 有)
5. NEC PC98 DOS
6. MSWindows Standard (NEC98/IBM互換機/FMシリーズ等)
7. MSWindows Enhanced (NEC98/IBM互換機/FMシリーズ等)
8. SPARC SUN OS
9. SPARC Solaris OS
10. HP9000-700
11. HP9000-300 (400にも対応)
12. IBM RS6000
13. NEC EWS 4800
15. SGI
16. DEC RISC
17. DEC VAX VMS
18. Next
19. Sony RISC
21. Next Step (Intel Chip)
22. DEC Alpha OSF/1

※ 現在、LINUX用のメディアを発注していますので、近日中にご利用いただけるようになります。(利用可能となり次第、センターニュースでもご案内致します。)

2. 夏季休暇中のセンター分館閉館について (再掲)

3. 夏期講習会（前半の部）の結果報告

センターでは、さる7月9日・10日・12日に夏期講習会(前半の部)を開催致しました。当日は受講者の方々と、学内外の講師の先生方及びセンター職員の熱意に包まれ、非常にホットな講習会となりました。後半の部にも、皆さま奮ってご参加下さい。

● 7/9(火)

時間	タイトル	講師(所属) <敬称略>	参加者数
10:00 ~12:00	自宅から KHAN への接続法	中村(センター)・ 西村(工学部)	26
13:00 ~15:00	新しい学内ネットワーク KHAN96	岡村(センター)・ 桑田(ザイラン・ジャパン)	24

● 7/10(水)

時間	タイトル	講師(所属) <敬称略>	参加者数
10:00 ~12:00	はじめての e-mail, ftp, www	青山・西牧・ 陰山(センター)	14
13:00 ~15:00	UNIX基礎の基礎 「Xを使いこなそう」	浦岡・辻・ 町田(センター)	12

● 7/12(金)

時間	タイトル	講師(所属) <敬称略>	参加者数
10:00 ~12:00	はじめての e-mail, ftp, www	青山・西牧・ 陰山(センター)	25
13:00 ~15:00	UNIX基礎の基礎 「Xを使いこなそう」	浦岡・辻・ 町田(センター)	22

4. 夏期講習会（後半の部）開催のお知らせ

センターでは、夏期講習会(後半の部)を下記プログラムの要領で開催します。受講希望の方は、添付の申込書に必要事項記入の上、**9月5日(木)**迄に kuipc@kobe-u.ac.jp 宛にお送り下さい。

なお、実習形式のものは定員以上の申込があった場合、調整させていただきますのでご了承ください。

又、9月11日・12日の講習内容は同じです。どちらか一方にお申し込み下さい。

講習会についてのお問い合わせは、

☆ 総合情報処理センター・陰山

☆ 内 線 : 2915

☆ E-mail : kuipc@kobe-u.ac.jp までお願い致します。

講習会プログラム

プログラムに記載の「場所」は、以下の番号をご参照下さい。

場所：(1) 瀧川記念学術交流会館
 (2) 工学部 情報コンセント教室 LR206 (Mac 40台)

● 9/11 (水) 定員 40名 (12日と同内容です)

申込 番号	時間	タイトル 予定内容	講師(所属) <敬称略>	場所
[1]	10:00 ~12:00	インターネットスターターズ7 Mac編(講義)	泉 典孝 他 (自然科学)	(2)

[2]	13:00 ~15:00	インターネットスターターズ7 Mac編(演習)	田中 美名 他 (松蔭女子大学)	(2)
-----	-----------------	----------------------------	---------------------	-----

● 9/12 (木) 定員 40名 (11日と同内容です)

申込 番号	時間	タイトル 予定内容	講師(所属) <敬称略>	場所
[1]	10:00 ~12:00	インターネットスターターズ7 Mac編(講義)	泉 典孝 他 (自然科学)	(2)

[2]	13:00 ~15:00	インターネットスターターズ7 Mac編(演習)	田中 美名 他 (松蔭女子大学)	(2)
-----	-----------------	----------------------------	---------------------	-----

● 9/13 (金)

申込 番号	時間	タイトル 予定内容	講師(所属) <敬称略>	場所
[5]	10:00 ~12:00	新システム紹介 年末に納入される新システムの概要を 紹介	中村 良介 (センター)	(1)

[6]	13:00 ~15:00	VOD活用法 端末から、自分の好みの画像・音声を 自由によびだせる“ビデオ オン デマ ンド システム”の使用法を紹介	岡村 耕二 (センター)	(1)
-----	-----------------	--	-----------------	-----

No.100 (1996/11/1)

1. 新システムについて

センターでは、本年末に現システムがリプレースとなり、来年1月からUNIXベースの新システムへ移行する予定となっています。ただし、リプレースにおける過渡期の措置として、convex、mars系ワークステーション、icluna は来年3月まで稼働する予定です。

今号では、新システムの概要と機器仕様、導入ソフトウェアについてお知らせします。

◆◆ 総合情報処理センター電子計算機システムの概要 (機器仕様、導入ソフトウェア) ◆◆

A 研究用システム

- (1) 高速演算サーバ (ベクトル計算機) [SX-4/2C // NEC × 1]
- ・ CPU 2 GFLOPS × 2 CPU
 - ・ メモリ 主記憶装置 2 GB、拡張記憶 2 GB
 - ・ ディスク 33.6 GB HIPPI インタフェース高速ディスクアレイ装置
 - ・ ネットワーク機能 10Base-T、HIPPI、HIPPI と 155Mbps ATM を接続するアダプタ
 - ・ OS UNIX System V準拠 (日本語対応)
 - ・ ソフトウェア vi, Nemacs, Mf/SX, FORTRAN77/SX, FORTRAN90/SX, ANALYZER-P/SX, ANALYZER-90/SX, AVS, GKS PARALLELIZER/SX, C/SX, C++, C-ANALYZER/SX, PHIGS, MATHLIB/SX, PDLIB/SX, MSC/NASTRAN
 - ・ その他 自動運転システム
- (2) 汎用並列サーバ (並列計算機) [Origin2000 // SGI/CRAY × 1]
- ・ CPU SPECint95 8.72、SPECfp95 12.2 × 28 CPU
 - ・ メモリ 主記憶容量 4 GB
 - ・ ディスク 206.4 GB
 - ・ ネットワーク機能 10Base-5、FDDI、266Mbps ファイバチャネル
 - ・ OS IRIX (日本語対応)
 - ・ ソフトウェア mule, MIPSpro POWER FORTRAN77, MIPSpro POWER FORTRAN90, MIPSpro C, MIPSpro C++, ProMPF, Prodev Workshop, Networkwer, Allegro Common LISP, Allegro Composer, Quintus Prolog, Viz/Express (AVS6), Mathematica 使用可
 - ・ その他 8mm テープバックアップ装置 (容量 280 GB)
- (3) ビジュアルリゼーションサーバ [ONYX Infinite Reality // SGI × 1]
- ・ CPU MIPS R10000 (200MHz) × 4 CPU
 - ・ メモリ 主記憶容量 1 GB
 - ・ ディスク 47.3 GB
 - ・ ネットワーク機能 10Base-5、266Mbps ファイバチャネル
 - ・ OS IRIX (日本語対応)
 - ・ ソフトウェア IRIS Performer, AVS, AVS Animator, FORTRAN77, FORTRAN90, C, C++, Web Magic Pro, WebSpace Author, MPEG & CINEPACK Encoders, Photoshop, Illustrator, ORACLE7, ABAQUS, Ez3d, Netscape Communication Server
 - ・ その他
 - ベータカムビデオカセットレコーダ [PVM-2800 // SONY × 1]
 - S-VHS 編集用レコーダ [SVO-5800 // SONY × 1]
 - 14 型カラーモニター [PVM-1454Q // SONY × 1]
 - コマ撮りコントローラ [VLXi // Video Media × 1]
- (4) 研究用ファイルアーカイブシステム [SPP1600HSM // HP/CONVEX × 1]
- ・ CPU (SPECint92 149.7、SPECfp92 281) × 2 CPU
 - ・ メモリ 主記憶容量 256 MB
 - ・ ディスク 40 GB (RAID5)
 - ・ ネットワーク機能 10Base-5、FDDI
 - ・ OS SPP-UX
 - ・ ソフトウェア Uni Tree+ (マイグレーション、バージョン、ステージング、ファイル単位のミラーリング、ラッシュカク機能、自動テープリバック機能) 非圧縮時総容量 1.4 TB のファイルを自動マイグレート

・テープドライブ装置

[DLT2000 × 1]

非圧縮時ハードウェア容量 2.6 TB

(5) 汎用並列サーバ用クライアント

[SPP1600/XA-8 // HP/CONVEX × 1]

- ・ CPU (SPECint92 149.7、SPECfp92 281) × 8 CPU
- ・ メモリ 主記憶容量 2 GB
- ・ ディスク 16 GB
- ・ ネットワーク機能 10Base-T、FDDI
- ・ OS SPP-UX (日本語対応)
- ・ ソフトウェア mule, ANSI C, C++, FORTRAN77, SPSS, Netscape Navigator 2.0, Mathematica 使用可
- ・ その他 DAT 装置

(6) データベースサーバ

[EWS4800/420 // NEC × 1]

- ・ CPU SPECint92 176、SPECfp92 160
- ・ メモリ 主記憶容量 128 MB
- ・ ディスク 4.29 GB
- ・ ネットワーク機能 10Base-T
- ・ OS UNIX SVR4.2MP ベースのもの (日本語対応)
- ・ ソフトウェア mule, ANSI C, C++, gnu C, gnu C++, FORTRAN77, ORACLE
- ・ その他 8mm テープ装置

B 教育用システム

(1) パーソナルコンピュータ管理サーバ

[Express5800/160PRO // NEC × 1]

- ・ CPU PentiumPRO(200MHz) × 4
- ・ メモリ 主記憶容量 192 MB
- ・ ディスク 6 GB (RAID0,1,5)
- ・ ネットワーク機能 100Base-TX, 155Mbps ATM
- ・ OS Windows/NT
- ・ 機能 教育用パーソナルコンピュータの利用者認証、ジョブ管理、ファイル集配管理、UPS 管理機能、ソフトウェア構成/配布管理、バックアップ管理、ウイルス予防、クライアント管理
- ・ その他 DLT 装置 (容量 10 GB)

(2) 教育用ワークステーション

[02 // SGI × 113]

- ・ CPU R5000(150MHz)
- ・ メモリ 主記憶容量 64 MB
- ・ ディスク 1 GB
- ・ ネットワーク機能 10Base-T
- ・ OS IRIX6.2
- ・ ソフトウェア mule, vi, C, C++, pascal, FORTRAN77, ASCII版日本語TeX, GNU Common Lisp, Soft Windows機能, Microsoft Office (MS-Word, MS-Excel), Borland Delphi, IRIS Showcase, Media Mail InPerson
- ・ その他 17 インチディスプレイ
- ・ 周辺機器 ZIP ドライブ 装置
プリンタ

[EZ-110A // EPSON × 113]

[Laser Writer 16/600PS-J // Apple × 7]

スキャナ

[GT-9000ART × 5]

(3) パーソナルコンピュータ (A)

[PC-9821V13/S7R // NEC × 210]

- ・ CPU Pentium (133MHz)
- ・ メモリ 主記憶容量 48 MB
- ・ ディスク 850 MB
- ・ ネットワーク機能 10Base-T
- ・ OS MS-Windows/NT Workstation
- ・ その他 17 インチディスプレイ
- ・ ソフトウェア HCL-eXceed4 for Windows/NT(X-Window System), MS-Word, MS-Excel, MS-ACCESS, Netscape Navigator, Canvas3.5, Boland C++4.5J, WATFOR-77, Delphi for Windows
- ・ 周辺機器 ZIPドライブ装置 [ZIPドライブ // IOMEGA × 210]
- プリンタ [Multi Writer 2200NW2 × 21]
- スキャナ [Multi Reader 600 × 21]

<情報処理教育用システム機器設置場所・パーソナルコンピュータ(A)導入ソフトウェア一覧>

設置場所	場所	機器	数量	備考 (導入ソフトウェア)	
総合情報処理センター (本館)	一般利用室	ワークステーション	10 式		
		ZIP ドライブ	10 台		
	オープン入出力室	パーソナルコンピュータ (B)	10 式		
		ZIP ドライブ	10 台		
		PS プリンタ	1 台		
		カラーイメージスキャナ	2 台		
総合情報処理センター (分館)	3 階演習室	ワークステーション	42 式		
		ZIP ドライブ	42 台		
		PS プリンタ	3 台		
		カラーイメージスキャナ	2 台		
	2 階演習室	ワークステーション	54 式		
		ZIP ドライブ	54 台		
		PS プリンタ	3 台		
		カラーイメージスキャナ	2 台		
	1 階演習室	パーソナルコンピュータ (A)	50 式	HCL-eXceed4 for Windows/NT(X-Window System), MS-Word, MS-Excel, MS-ACCESS, Netscape Navigator, Canvas3.5, Boland C++4.5J, WATFOR-77, Delphi for Windows	
		ZIP ドライブ	50 台		
		PS プリンタ	5 台		
		カラーイメージスキャナ	5 台		
		1 階自習室	ワークステーション	7 式	
			ZIP ドライブ	7 台	
			PS プリンタ	1 台	
			カラーイメージスキャナ	1 台	
			パーソナルコンピュータ (A)	10 式	HCL-eXceed4 for Windows/NT(X-Window System), MS-Word, MS-Excel, MS-ACCESS, Netscape Navigator, Canvas3.5, Boland C++4.5J, WATFOR-77, Delphi for Windows
			ZIP ドライブ	10 台	
	六甲台	情報処理演習室	パーソナルコンピュータ (A)	50 式	MS-Word, MS-Excel, MS-ACCESS, Netscape Navigator
			ZIP ドライブ	50 台	
			PS プリンタ	5 台	
カラーイメージスキャナ			5 台		
大教センター	情報処理演習室	パーソナルコンピュータ (A)	100 式	MS-Word, MS-Excel, MS-ACCESS, Netscape Navigator, Delphi for Windows	
		ZIP ドライブ	100 台		
		PS プリンタ	10 台		
		カラーイメージスキャナ	10 台		

(4) パーソナルコンピュータ (B)

[MTC-P150-SP6 // メモリテクノロジー × 10]

- ・ CPU Pentium (150MHz)
- ・ メモリ 主記憶容量 32 MB

・ディスク	1.28 GB	
・ネットワーク機能	10Base-T	
・OS	Windows/NT, NEXT STEP Academic Bundle	
・その他	17 インチディスプレイ、230 MB MO ドライブ	
・ソフトウェア	Microsoft Office Professional, COREL DRAW!, 文机, Lighthouse, Academic CD, News Grezer.app, ASCII版日本語TeX, Mathematica 使用可	
・周辺機器	ZIP ドライブ 装置	[EZ-110A × 10]
	プリンタ	[Multi Writer 2200NW2 × 1]
	スキャナ	[Multi Reader 600 × 2]
(5) 一般入出力機器 (媒体変換用機器とプリンタ関連)		
ワークステーション		[EWS4800/310X // NEC × 2]
・5 インチ光磁気ディスク		[ODU × 2]
・QIC 磁気テープ装置		[CGMTU × 2]
・8mm テープ装置		[8mmCMT × 1]
・DAT 装置		[4GBDAT × 2]
・1/2 インチオープン磁気テープ		[MTU × 1]
パーソナルコンピュータ		[PC-9821XV13 // NEC × 2]
・ZIP ドライブ装置		[PC-ODX × 1]
・5 インチフロッピーディスク		[PC-FD511D × 2]
・3.5 インチ光磁気ディスク		[LMO-640 × 2]
・PD ドライブ装置		[PC-ODX × 1]
・CD-ROM 読み取り・ライタ装置		[LCW-851 × 1]
・カラーイメージスキャナ		[Multi Reader 600 × 1]
ネットワークカラープリンタ		[Acolor935 × 1]
日本語ページプリンタ		[LCP30J × 1]
デジタルタイザ		[Drawing BoardIII × 1]

C 図書館用システム

(1) サーバ		[UP4800/760R // NEC × 1]
・CPU	SPECint92 267、SPECfp92 300	
・メモリ	主記憶容量 384 MB	
・ディスク	4 GB	
・ネットワーク機能	CDDI, 100Base-TX	
・OS	UNIX System V 準拠のもの	
・ソフトウェア	ORACLE, LICSU-UX	
・その他	ディスクレイ装置 (容量 28 GB (RAID5)) 集合 DAT 装置	

(2) クライアント用機器 (閲覧業務用、一般業務用)

ワークステーション		[EWS4800/410 // NEC × 22]
・CPU	SPECint92 118、SPECfp92 110	
・メモリ	主記憶容量 96 MB (一般業務用、サーバと兼用のものは 128 MB)	
・ディスク	1.05 GB	
・ネットワーク機能	10Base-T	
・OS	UNIX System V 準拠のもの	

- ・周辺機器 業務用プリンタ [N1153-005 × 16]
- 光学的読み取り装置 [MR3001 × 11]
- X 端末 [カラー Xステーション × 45]

(3) その他機器

- パーソナルコンピュータ [PC-9821V12/S7R // NEC × 20]

- ・CPU Pentium (120MHz)
- ・メモリ 主記憶容量 16 MB
- ・ディスク 850 MB
- ・ネットワーク機能 10Base-T
- ・OS Windows95
- ・ソフトウェア Windows版 OPAC, Netscape Navigator

- 高速プリンタ [2CP30J × 1]

- ・解像度 400 dpi、印刷速度 30枚(A4)／分、JIS 第一、第二水準文字、学術情報センターの目録用拡張文字セットの出力、OCR-B フォント及びバーコードの出力

D 教務事務用システム

- (1) サーバ [S3400/10 // NEC × 1]

- ・CPU 3 MIPS
- ・メモリ 主記憶容量 96 MB
- ・ディスク 10.4 GB
- ・ネットワーク機能 10Base-5
- ・ソフトウェア ATSS, RIQS, COBOL85, COBOL/S, 外字作成
- ・周辺装置 MT 装置
プリンタ (連続用紙対応)
- ・その他 自動運転システム

(2) クライアント用機器

- パーソナルコンピュータ [PC-9821V12/S7R // NEC × 19]

- ・CPU Pentium (120MHz)
- ・メモリ 主記憶容量 16 MB
- ・ディスク 850 MB
- ・ネットワーク機能 10Base-T
- ・OS Windows95
- ・ソフトウェア Microsoft Word, Microsoft Excel, ETOS-JX
- ・周辺機器 プリンタ [PC-PR2000E × 18]

E ネットワーク情報サービスシステム

- ワークステーション [EWS4800/460 // NEC × 1]

- ・CPU SPECint92 273、SPECfp92 310
- ・メモリ 主記憶容量 160 MB
- ・ディスク 4.29 GB
- ・ネットワーク機能 10Base-T, FDDI
- ・OS UNIX SVR4.2MP ベースのもの (日本語対応)
- ・ソフトウェア mule, C, WWW/Wais/gopher/anonymous ftp サーバソフトウェア

- ・その他 8mm テープ装置

F 統合運用管理システム

ワークステーション

[EWS4800/460 // NEC × 1]

- ・CPU SPECint92 172、SPECfp92 160
- ・メモリ 主記憶容量 96 MB
- ・ディスク 4.29 GB
- ・ネットワーク機能 10Base-T
- ・OS UNIX SVR4.2MP ベースのもの（日本語対応）
- ・ソフトウェア mule, ORACLE,
- ・周辺装置 8mm テープ装置

日本語ページプリンタ

パーソナルコンピュータ

[PC-9821V12/S7R // NEC × 1]

- ・CPU Pentium (120MHz)
- ・メモリ 主記憶容量 32 MB
- ・ディスク 8500 MB
- ・ネットワーク機能 10Base-T
- ・OS Windows95
- ・ソフトウェア MS-Excel, MS-Access, Netscape Navigator
- ・周辺装置 シリアルページプリンタ

G ネットワークシステム

- ・ファイバチャネル [FCS266 Fiber Switch 64/32 // Ancor × 3]
- ・ファイバチャネルルータ [ULTRA ENTERPRISE 1 MODEL140 // SUN × 8]

2. ACOSから新システムへの移行について

ACOS をご利用の皆様、ACOS のプログラム・データの移行はお済みでしょうか。新システムの導入により、現在利用されている ACOS 上のバイナリのプログラムやデータは、新システム上では使用できなくなります。したがって、利用者の方々に ACOS のサービスを終了する 12 月までに、以下のような移行措置をとって頂く必要があります。

[1] データについて

バイナリデータは、テキスト形式(書式付き出力)に変換して下さい。ACOS では、FTP コマンドがサポートされていますので、テキスト形式のデータは、他のマシンに簡単に転送できます。現在 MT の形で保管されている ACOS フォーマットのデータをお持ちの方も同様に、データを変換していただく必要があります。

センターで一般に利用して頂けるワークステーションとしましては、comet(133.30.20.230)あるいは mars(133.30.10.40~43)があります。

また、新たに導入されるシリコングラフィックス社製の ONYX もご利用いただける予定です。

[2] プログラムについて

ACOS 上で作成したオブジェクトファイルや実行ファイルは、新システム上では動作しません。プログラムの移行は、ソースの形で行う必要があります。ソースプログラムも、ACOS 固有の機能を使用している場合、そのままでは動かないおそれがありますので、適当な UNIX システム環境にプログラムを転送し、動作テストを行われる事をお勧めします。動作テストは、FTP コマンドで UNIX ワークステーション上に移動させた後、再コンパイルしてご確認下さい。

コンパイルコマンドは、comet では /usr/convex/fc、mars 系では /usr/bin/f77 です。

ONYX に関しましては、導入され次第、お知らせいたします。

細かい言語仕様の相違などのため、うまく実行できない場合にはセンターにご相談ください。

[3] ACOS退避ファイル

スプールシステムによるファイル退避を行われている方は、その退避テープの内容を次期システムで利用することはできません。一度システム上に復元した後で、上記[1]にそった処理をして下さい。

現在、ACOS上で使用されている一般のアプリケーションが移行後どうなるかについては、今後センターニュース等でお知らせする予定です。

また、ACOSへ直接入る公衆回線サービスは中止されます。公衆回線接続をされる場合は、KHAN（外線:078-871-6401、内線:2961,2962）に接続してご利用下さい。

3. センター本館端末機の一部撤去について

新システムへの移行に伴い、10月よりセンター本館の端末等機器の部分的撤去を開始致します。現時点では、本館2階パソコン端末室のPC10台を10月末に撤去する予定です。

利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご了承願います。

今後の予定につきましても、センターニュース等で順次お知らせします。

4. センターサービス時間の変更について

センター本館では、後期日程開始に伴い、サービス時間を下記のように変更します。

なお、ネットワーク・ワークステーションにつきましては、24時間運用です。

◆◆利用時間のご案内◆◆

	本館オープン時間	大型計算機運用時間
平日	9:00～20:30	9:00～24:00
保守作業のある第4水曜日	11:00～20:30	11:00～24:00
土曜日	休館	9:00～24:00
日曜・祝日	休館	休館

※第4水曜日で保守作業を行う日は、事前に電子メールでご連絡致します。

※センターの電子計算機更新によりACOSのデータの移行が必要となった方等のために、当面の間、大型計算機（ACOS3900）を土曜日にも運転することになりました。どうぞご利用下さい。（ただし、土曜日はセンター休館日です。）

5. 夏期講習会（後半の部）の結果報告

センターでは、さる9月11日・12日・13日に夏期講習会（後半の部）を開催致しました。当日は受講者の方々と、学内外の講師の先生方及びセンター職員の熱意に包まれ、非常にホットな講習会となりました。

● 9/11（水）

時間	タイトル	講師(所属)〈敬称略〉	参加者数
10:00～12:00	インターネットスターターズ7Mac編 (講義)	泉 典孝 他 (自然科学)	17
13:00～15:00	インターネットスターターズ7Mac編 (演習)	田中 美奈 他 (松蔭女子大学)	17

● 9/12 (木)

時間	タイトル	講師(所属)〈敬称略〉	参加者数
10:00~12:00	インターネットスターターズ7Mac編 (講義)	泉 典孝 他 (自然科学)	21
13:00~15:00	インターネットスターターズ7Mac編 (演習)	田中 美奈 他 (松蔭女子大学)	14

● 9/13 (金)

時間	タイトル	講師(所属)〈敬称略〉	参加者数
10:00~12:00	新システム紹介	中村 良介 (センター)	18
13:00~15:00	VOD活用法	岡村 耕二 (センター)	25

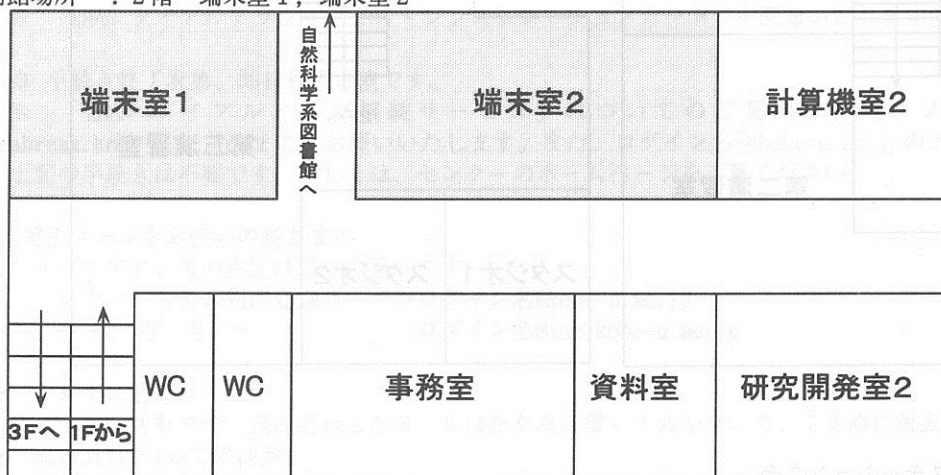
No.101 (1997/5/19)

1. センター本館及び分館の利用について

[1] 本館 (自然科学系図書館の南側)

開館時間 : 平日 9:00 ~ 17:00

開館場所 : 2階 端末室1, 端末室2



利用できる機器

- ・ 端末室1
 - * パーソナルコンピュータ (Windows95) 9台
 - インターネットアクセスが利用可
- ・ 端末室2
 - * パーソナルコンピュータ (Windows/NT、NEXT STEP) 9台
 - ワードプロセッサ、表計算ソフトが利用可
 - * O2ワークステーション10台 (研究利用者のみ)
 - * 入出力用パーソナルコンピュータ2台
 - 5inchFD、3.5inchMO、スキャナー、CD-R、Zip、PDが利用可
 - * 入出力用ワークステーション2台
 - DAT、8mmテープ、Qicテープ、MT(オープンリール)、5inchMOが利用可

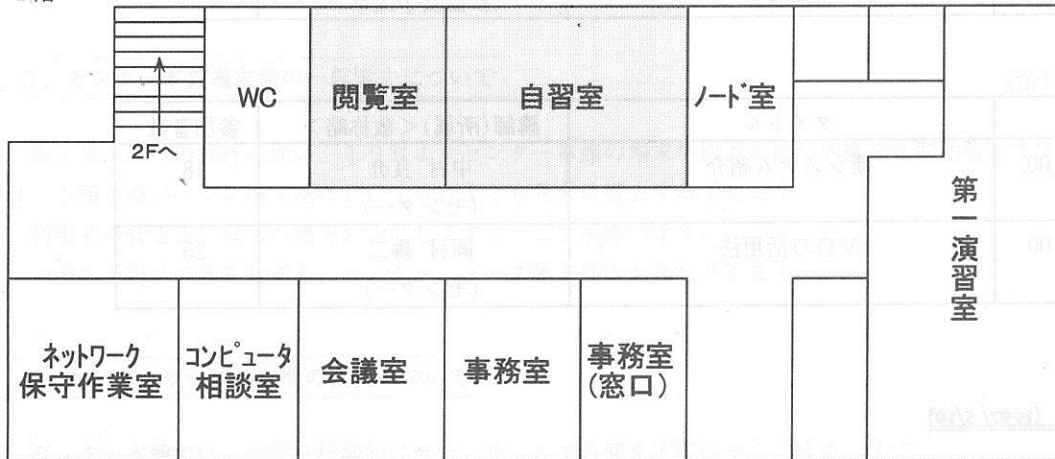
[2] 分館 (工学部生産機械棟の北側)

開館時間 : 平日 9:00 ~ 17:00

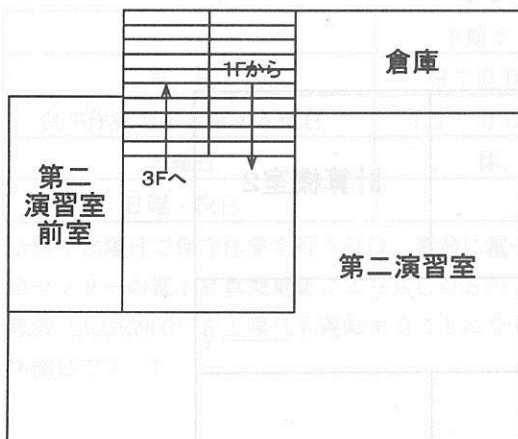
開館場所 : 自習室・閲覧室・演習室 (授業時)

※ 混雑時は演習室を適宜に開放します。

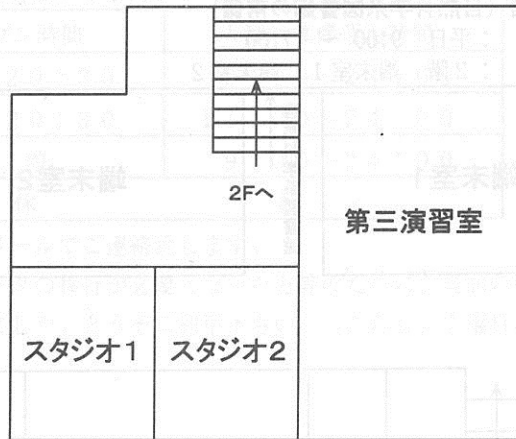
1 階



2 階



3 階



利用できる機器

・自習室

* O2ワークステーション7台

プリンタが利用可

* パーソナルコンピュータ (Windows/NT) 9台

プリンタ、ワードプロセッサが利用可

その他、機器や詳細については、センターのホームページをご覧ください。

[3] センターからの連絡・案内

計算機に関する情報、特に停止のお知らせ等を電子メール、センター館内掲示板、WWWサーバ (<http://www.kobe-u.ac.jp/ipc/keijiban/index.html>) にてご連絡しています。

[4] センターニュース入手方法

センターではセンターニュースを発行しています。利用者の方へのセンターニュースの配布は、基本的に電子メールでの発送のみとさせていただきますが、書面での個別発送を希望される場合は、申し込み用紙に必要事項

を記入の上、センター本館事務室までお申し込みください。(電子メールでも受け付けています。)

お申し込み・お問い合わせは、センター業務掛 (e-mail : ipcnews@teabreak.kobe-u.ac.jp) までお願いいたします。

※ センターニュースは、電子メールでの個別送付のほか、WWWでもご覧になれます

[5] KHANダイアルアップ接続サービス

KHANダイアルアップ接続サービスは、セキュリティ強化のため、各利用ユーザ毎にアカウントを発行しています。アカウントの取得は、下記の「① オフライン手続き」もしくは「② オンライン手続き」のいずれかで行なうことができます。ただし、オンライン手続きは、利用者認証の必要があるため、センターに利用者登録されている方に限らせていただきますのでご了承ください。

① オフライン手続き

★ アカウント配布場所

神戸大学総合情報処理センター分館 1F 受付

(外線) 078-803-0192

(内線) 2914

※ 医学部につきましては、情報センター窓口にて受付けております。

★ アカウント配布期間

受付時間帯は、10:00~12:00, 13:00~16:00 です。

★ 必要なもの

身分証明書 (神戸大学構成員であることを証明できるもの)

〈例〉教職員 → 共済組合員証など

学 生 → 学生証

② オンライン手続き

センターのマシンにアカウント (ログイン名@ipc.kobe-u.ac.jpのアドレス) をお持ちの方は、電子メールによるダイアルアップサービスアカウント取得申請を受け付けます。

dial-srv@teabreak.kobe-u.ac.jp 宛に「KHAN ダイアルアップサービスアカウント取得希望」と書いたメールをお送り下さい。折り返し、「KHAN ダイアルアップサービスアカウント申請書」をお送りします。

※ 「KHAN ダイアルアップサービス・レジストレーションカード」を配布いたしますので、大切に保管して下さい。

※ 手続き終了次第、即日利用可能です。

※ 「KHAN ダイアルアップ接続サービス」についてのご質問は、電子メールにて dial-srv@teabreak.kobe-u.ac.jp まで、お願いいたします。また、ログイン名@kobe-u.ac.jpのアドレスをお持ちの方は、上記の手続きは不要です。詳しくは、センターのホームページをご覧ください。

[6] 電子メールをお使いの皆さまへ

★ メールアドレスの表記は以下の通りです。

<センターシステム利用登録ユーザ>ログイン名@kobe-u.ac.jp

<一般学生>

ログイン名@ipc.kobe-u.ac.jp

★ ためずに消そう

Diskは共有です。読み終わったメールはむやみに置いておかないで、こまめに消去して下さい。

★ mailallについての注意

mailallは全利用者あての連絡専用メーリングリストです。機器の停止など、センターからのお知らせは、mailallメーリングリストにてお伝えします。又、mailall宛のメールを単純にリプライ(返答)すると、全利用者に送付されてしまいますのでご注意ください。

2. パスワードの変更方法

[1] Windows/NT

Windows/NTにログインするためのパスワードの変更方法は以下の通りです。

* ログイン画面に表示されているログイン先を「KOBEO」にしてログインする。

* デスクトップ画面が表示された後、キーボード上のCTRL+GRPH+DELキーを押す。

* 「パスワードの変更」ボタンをクリックする。

* 表示されている画面に従ってパスワードを入力する。

旧パスワード
↓
新パスワード
↓
新パスワード

* 変更されるまで数秒の時間がかかります。

* 「パスワードが変更されました。」と表示が返ってくれば完了です。

[2] ワークステーション

ワークステーションにログインするためのパスワードの変更方法は以下の通りです。

* O2のコンソール画面からログインする。あるいはWindowsNTにあるTelnetを利用してO2にログインする。

* 一般利用者はo21000.ipc.kobe-u.ac.jp(133.30.65.10)~o21006.ipc.kobe-u.ac.jp(133.30.65.16)以外にはログインできません。

telnetの例 (o21006.ipc.kobe-u.ac.jpにログイン)
IRIX (o21006)

```
ログイン:***** ←ログインID入力
パスワード:***** ←パスワード入力 (表示されない)
IRIX Release 6.3 IP32 o21006
Copyright 1987-1996 Silicon Graphics, Inc. AllRights Reserved. 最終ログイン: 1997年 *月 **日 (**曜日)
**時**分**秒 JST - *****@*****.kobe-u.ac.jp <o21006 1% yppasswd ←コマンド入力
Changing NIS password for ***** on gaia.
Old password: ***** ←旧パスワード入力 (表示されない)
New password: ***** ←新パスワード入力 (表示されない)
Retype new password: ***** ←新パスワード再入力 (表示されない) >
```

◎ O2に直接ログインしたときは、O2のUNIXシェルで< >の部分を入力。

NIS passwd changed on gaia
o21006 2% logout ←ログアウト

★apolloやzeusには変更が即時に反映されますが、origin2000(gaia)には翌日反映になります。

No.102 (1997/7/29)

1. 夏期休暇中のセンター分館の閉館について

2. 停電・メンテナンスに伴うサービス停止について

3. 数式処理システム「Mathematica」利用のご案内

平成7年6月1日より、総合情報処理センターが窓口となり、数式処理システム「Mathematica」のキャンパス・ライセンスを取得しています。これに伴い、学内すべてのコンピュータ(ただし、後述の [7] Mathematica 対応機器一覧 にリストアップされているものに限る)で、個別に購入しなくとも、Mathematica を利用することが可能になっています。

つきましては、本年度も引き続き下記の要領でソフトウェアを配布致しますので、ソフトウェア入手ご希望の方は、センター本館事務室にある所定の申請書にてお申し込み下さい。

[1] 利用条件

利 用 者：神戸大学に所属している者（教官、職員、学生など）

利 用 マ シ ン：神戸大学が管理しているマシン

場 所：神戸大学内

ライセンス期限：平成10年3月31日（年度ごとに更新を要します）

※ 今回取得していただいたパスワードの有効期限は、バージョンアップのため、平成9年9月となっております。Ver.3につきましては、センターで動作確認がとれ次第ご連絡致します。

[2] 申請方法

申請方法は、2種類あります。

（その1）総合情報処理センター本館事務室にある所定の申請書にてお申し込み下さい。

（その2）math-admin@kobe-u.ac.jp 宛に電子メールで、申請書を請求して下さい。

学内便にて申請書をお送り致します。

[3] ソフトウェア配布方法

・パソコン用のパッケージは、センター本館事務室にてフロッピイディスクを貸し出します。

・ワークステーション用パッケージは、ftpにて入手して頂きます。

・インストール方法等の詳細につきましては、パッケージとともに配布します。

[4] 利用負担金

・ワークステーションライセンスサーバ 10,000 円

・ワークステーションクライアント 2,000 円

・パーソナルコンピュータ 2,000 円

※ センター利用料と同様、予算組み替えにより、年間一括払いで徴収します。

[5] 利用申請に関する問い合わせ先

Mathematica 利用申請に関するお問い合わせは、

☆ 総合情報処理センター 業務掛

☆ TEL : 803-0191 もしくは 内線 2915

☆ FAX : 803-0193 もしくは 内線 2930

☆ E-mail : math-admin@kobe-u.ac.jp までお願い致します。

[6] ユーザの情報交換用メーリングリスト

神戸大学では、Mathematica ユーザの情報交換を目的としたメーリングリストが運営されて

Mathematica@godel.seg.kobe-u.ac.jp 宛にメールを送ると、メーリングリストに登録されている方全員に、同じ内容のメールが自動配送されます。利用申請されたマシン管理者の方は、このメーリングリストに登録されます。それ以外の方でメーリングリストへの登録を希望される場合は、「Mathematica メーリングリストへの登録希望」と明記の上、Mathematica-admin@godel.seg.kobe-u.ac.jp に、氏名・所属・メールアドレスを記入したメールをお送り下さい。

なお、Mathematica の利用方法については、センターの広報誌「MAG E Vol.18 NO.1 1995.10 (25)」P.97～125『数式処理システム Mathematicaについて』にも紹介されていますので、興味のある方は是非ご覧下さい。

[7] Mathematica対応機器一覧

1. Macintosh Standard (MacLC2以上)

2. Macintosh Enhanced (MacLC2以上、PowerPC)
3. MS-DOS Standard (数値演算プロセッサ 無)
4. MS-DOS Enhanced (数値演算プロセッサ 有)
5. NEC PC98 DOS
6. MSWindows Standard (NEC98/IBM互換機/FMシリーズ等)
7. MSWindows Enhanced (NEC98/IBM互換機/FMシリーズ等)
8. SPARC SUN OS
9. SPARC Solaris OS
10. HP9000-700
11. HP9000-300 (400にも対応)
12. IBM RS6000
13. NEC EWS 4800
15. SGI
16. DEC RISC
17. DEC VAX VMS
18. Next
19. Sony RISC
21. Next Step (Intel Chip)
22. DEC Alpha OSF/1
23. LINUX

4. センター講習会の結果報告

[1] 総合情報処理センターでは、さる6月10日・11日、瀧川記念学术交流会館大会議室にて講習会を開催致しました。

● 6/10(火) 13:30~17:00

タイトル: SX-4

Fortranプログラムの高速化技法について

講師: NEC

参加者数: 36名

● 6/11(水) 10:00~12:00

タイトル: Origin2000

基本アーキテクチャの説明, ツール概要

講師: SGI

参加者数: 36名

● 6/11(水) 13:00~16:00

タイトル: Origin2000

シングルプロセッサ最適化・並列処理について

講師: SGI

参加者数: 33名

[2] 夏期講習会を下記プログラムの要領で開催致しました。

~講習会プログラム~

● 7/24(木) 10:00~12:00

場所: 自然科学系図書館 4階会議室

内容: 「ビデオコマ撮りシステムの使い方」

ビデオコマ撮りシステムを利用すると、例えば、コンピュータグラフィックスなどで作成した連続して変化する画像群を動画としてビデオテープに録画することができます。これは研究成果を学会等で発表する時に大変便利です。

《講習内容》

1. お持ちの静止画をビデオコマ撮りシステムに合うサイズに変換する方法
2. お持ちの静止画をビデオコマ撮りシステムに合うフォーマットに変換する方法
3. ビデオコマ撮りシステムの使用方法和注意
4. ビデオコマ撮りシステムで使用可能なビデオテープの紹介

なお、ビデオコマ撮りシステムは ONYX (apollo) で制御しますので、研究者IDが必要です。

● 7/24(木) 13:30~15:30

場所： 自然科学系図書館 4階会議室

内容： 「入出力機器の利用法」

本講習では入出力機器(ワークステーション、パソコン)を使って異なるメディア間でのデータ移行について説明します。

《講習内容》

1. ワークステーションでのデータ移行
 - I) DAT, CGMT, 5インチMO, オープンリール, 3.5インチフロッピー, CD-ROM(読み込み専用)間でのデータ移行の方法
 - II) 自分の研究室の端末のデータをネットワークを通して I) の各メディアへデータを移行する方法
2. パソコンでのメディア変換
 - I) 3.5インチ, 5インチフロッピーディスク, 3.5インチMO, Zip CD-R, PD間でのデータ移行の方法
 - II) 各メディアのフォーマット方法

● 7/25(金) 13:30~15:30

場所： 総合情報処理センター分館

内容： 「SPSS 入門」

SPSS のたちあげから、簡単なデータ処理までを扱います。本講習は、実習形式でおこないます。

※ なお、講習以外でセンターシステムの SPSS を利用していただくには研究用 ID が必要です。

5. 学生ID配布の結果報告

平成9年度から、電子メールを使用するためのIDを全学生に発行しています。配布状況は下記の通りです。
学生ID配布状況一覧表(平成9年7月16日現在)

部局名	人数	配布人数	配布率%
夜間・第二課程	974	461	47.3
大学院自然科学研究科	1,360	796	58.5
大学院(自然科学以外)	1,548	565	36.5
発達科学部	1,179	788	66.8
養護教諭特別科	35	31	88.5
工学部	2,858	2,248	78.7
文学部	507	327	64.5
理学部	723	538	74.4
国際文化学部	584	424	72.6
農学部	776	617	79.5
法学部	1,183	851	71.9
経済学部	1,272	1,048	82.4
経営学部	1,313	850	64.7
医学部(保健学科含む)	1,121	604	53.9
医療短期大学	1	0	0
計(休学者含む)	15,434	10,148	65.8

No.103 (1997/9/18)

1. センターサービス時間の変更について

センター分館では、10月1日から後期日程開始に伴い、サービス時間を下記のように変更します。
なお、本館は午後5時に閉館致しますので、お間違いのないようご注意ください。

◆◆利用時間のご案内◆◆

	分館オープン時間
平日	9:00~20:30
土曜日	休館
日曜・祝日	休館

2. 夏期講習会の結果報告

センターでは、さる7月24日・25日に夏期講習会を開催致しました。当日は受講者の方々と、学内外の講師の先生方及びセンター職員の熱意に包れ、非常にホットな講習会となりました。

日時	タイトル	講師	参加者数
7月24日(木) 10:00~12:00	ビデオコマ撮りシステムの使い方	岡村 耕二 (センター)	12
7月24日(木) 13:30~15:00	入出力機器の利用法	宇都宮 努 (センター)	9
7月25日(金) 13:30~15:30	SPSS入門	清水 洵 (甲南女子大)	16

3. 研究開発テーマ募集のお知らせ

総合情報処理センターでは、センターの資産となりうる、もしくはユーザの利便性向上となりうるソフトウェア作成の開発・研究に対して、利用負担金を免除し、その開発を積極的に援助しています。

下記の要領で開発テーマの募集を行いますので、ご計画をお持ちでしたらふるってご応募下さい。

応募資格：神戸大学に所属する方（学生も可）

目的：センター機器関連の環境整備

募集期間：随時

特典：計算機利用負担金の免除

※学生の場合は、研究者用IDを渡します。

開発結果は、インストラクションもしくはマニュアルの作成を行い、公開することが義務づけられます。
応募を希望される方は、研究開発計画承認申請書を提出して下さい。（申請書は、センター本館事務室に用意しています。） お問い合わせ先：センター事務室（内線 2910）

4. 数式処理システム『Mathematica』の利用について

I) Mathematica Workstationユーザーの皆様へ (至急のお願い)

この度 Mathematica3.0へのバージョンアップに伴い、各ワークステーションのOS適合状況、及び mathIDの取得についてお願いがあります。下記事項をお読みになった上で、至急お答えいただきますようお願いいたします。

また、パスワード有効期限が9月初旬となっているマシンがありますのでご注意ください。

NEXTSTEPにつきましては、Ver. 3.00の時点で不具合があった為、現在ご利用できません。今秋に修正版が Ver. 3.01としてリリースされる予定ですので、もうしばらくお待ち下さい。

《Mathematica3.0動作環境》

Mathematica3.0の動作環境につきましては、

NetJapanの Mathematica 3.0動作環境のページ

(<http://www.netjapan.com/es/mathe/info/require970718.htm>)

日本電子計算(株)の Mathematica 3.0動作環境のページ

(<http://www.jip.co.jp/sci/tech/mes/Soft/Math/3.0machine.html>)

を参照願います。

●上記動作環境に適合する場合●

<ftp://opensun.kobe-u.ac.jp/pub/Math3.0>に mathematicaのinstall (mathID取得専用です。実際にはパスワードを取得後にCD-ROMで行っていただきます。)を置きましたので、インストールの上、各ワークステーションでの"MathInstaller -info"の実行結果(マシン名とmathID)を math-admin@kobe-u.ac.jpまでメールにてお知らせください。

※ mathematica3.0本体のインストールは上記実行結果によりパスワードが取得できた段階でご連絡いたします。

●上記動作環境に適合しない場合●

"Mathematica2.2で継続希望"と明記の上、現在お使いになっているマシン名と mathIDをmath-admin@kobe-u.ac.jpにメールにてお知らせください。

II) 『Mathematica3.0』の利用について

Macintosh・Windowsで『Mathematica 3.0』がご利用頂けるようになりました。

つきましては、Mathematica 3.0のメディアの貸し出しを行ないますので、ご足労ですが、総合情報処理センター本館・事務室までお越しください。

なお、当分の間、CD-ROMの貸出期限を1日(貸出当日に要返却)とさせていただきます。

また、Ver.3は Windows3.1対応ではありませんので、3.1ユーザーの方には、従来通り、Ver.2.2をご利用頂くこととなります。その場合、パスワードの有効期限の延長が必要となりますので、総合情報処理センター(email:math-admin@kobe-u.ac.jp、内線:2915)までその旨ご連絡願います。

5. センターのマシンで大規模な計算をされるユーザーの方へのお願い

センターの各種サーバーでは、大規模な数値計算などを行なうことができます。しかしZEUS以外のマシンでは、OSが通常のUNIXであるため、特にジョブの制限などを行なっておりません。このため特定のユーザーが、非常に大規模な計算を行ない負荷が大きくなると、システム全体の運営に支障をきたすことがあります。計算をされる前に必ず以下の手順で、現在のシステムの状態を必ず確認してください。

- ・ top コマンド や w コマンドで、現在のロードアベレージをチェックする
- ・ それぞれのマシンで、ロードアベレージが以下に示す値以上になっている場合は、それ以上の計算を控えてくださるようお願いいたします。CPUの数よりも、実行するジョブの数が大きくなってしまうため実行時間がかかって遅くなってしまいます。

GAIA (ORIGIN2000)	15
APOLLO (ONYX)	2
ARTEMIS (SPP1600/XA-8)	7

また GAIA で並列計算を行なった場合、ロードアベレージは利用 CPU 数に比例して増えますのでご注意ください。

また ZEUS の ジョブの状態を確認するにはqstatq あるいは qstatr コマンドなどが使えます。詳しくは <http://www.kobe-u.ac.jp/~ipc/newsys/man/nsgc/sxnqs.html> を御覧ください。

No.104 (1997/12/3)

1. 年末年始におけるサービス時間の変更について

2. メンテナンスに伴うサービス停止について

センター計算機メンテナンスに伴い下記のとおり計算機を停止しますのでご了承ください。

なお、停止時には実行中のプロセスを停止します。停止されたプロセスも課金計算がされますので、停止日時にかかるとなるようなプロセスは実行されないようお願いします。

停止日時 : 12月24日(水) 8:30~11:30
停止機器 : zeus (SX-4)
 gaia (Origin2000)
 apollo (Onyx)
 artemis (SPP)
 olympus (SPP)

また、停止日時には電子メール、端末機(センター本館、分館、大学教育センター 六甲台の各情報処理教室)もご利用になれませんのでご注意下さい。

3. 講習会開催のお知らせ

総合情報処理センターでは、利用者講習会を下記プログラムの要領で開催いたします。受講希望の方は添付の申込書に記入の上、kuipc@kobe-u.ac.jp までお送りください。なお、申し込みにあたって、

- ◎研究 I D による利用者を優先します。
- ◎各講座とも先着順とさせていただきます。
- (定員を超えた場合は同日に追加講習会を行う場合があります。)

★★ 講習会プログラム ★★

- 申込番号 : 1
 - 内容 : 「O2 活用法」
 - 日時 : 12/16(火) 15:00 - 17:00
 - 場所 : 総合情報処理センター 分館 3F 第三演習室
 - 定員 : 40名
 - 概要 : O2 固有のアプリケーションの使い方などを紹介します
-
- 申込番号 : 2
 - 内容 : 「Mathematica の基礎」
 - 日時 : 12/17(水) 13:30 - 15:30
 - 場所 : 総合情報処理センター 分館 3F 第三演習室
 - 定員 : 40名
 - 概要 : 新バージョンから GUI が導入され使いやすくなった Mathematica を初心者の方にもわかりやすく解説します。(講師は Mathematica 開発元の Wolfram からお招きします)

- 申込番号：3
- 内容：「NT を使ったはじめてのホームページの作成」
- 日時：12/19(金) 13:30 - 15:30
- 場所：大学教育研究センター 4 F K 5 0 3
- 定員：70名
- 概要：はじめてホームページをつくる方を対象に、HTML文書の作り方やサーバへのアップロードの仕方などを紹介します(初心者向け)。

受講希望の方は添付の申込書に記入の上、kuipc@kobe-u.ac.jp あてにお送りください。

(申し込み締め切り：12月11日(木))

●●講習会受講申込書●●

所属(学部)：

職名(学年)：

氏名：

連絡先(内線)：

連絡先(e-mail)：

申込番号1 (O2活用法)：

申込番号2 (Mathematica基礎)：

申込番号3 (NTでホームページ)：

●●受講希望の番号の横に ○ をつけて下さい●●

4. ダイアルアップ接続に関するお知らせ

[1] 新ダイアルアップサーバ導入について

1998年1月より、特に利用申請の必要なく、センターID(研究ID、学生ID)、パスワードでアクセスできるようになります。(センターIDをお持ちでない場合は、センターの利用申請が必要です)また、現ダイアルアップサーバ(ネットプレイヤー)のサービス(078-803-6401,内線2961)は1998年3月末まで行いますが、アカウント申請の受け付けは、1997年12月25日で終了します。サービス停止後は、現在発行されているダイアルアップ用ID(例 at***, ap***)は無効になりますので、ご了承ください。

〈 導入スケジュール 〉

新ダイアルアップサーバ サービス	078-805-5750	1998年1月より
現ダイアルアップサーバ サービス	078-803-6401 内線2961	1998年3月末まで
現ダイアルアップサーバ サービス	078-805-2950	継続

〈 回線数 〉

	利用可能ID	電話番号	回線数
新	研究用ID・一般学生ID	078-805-5750	デジタル47回線 (うち47回線アナログ 共用)
既存	研究用ID	078-805-2950	デジタル23回線 (うち8回線アナログ共 用)

[2] 新ダイヤルアップサーバ機能紹介

《ダイヤルアップサーバ (MAX4048) 》

ISDN	64K	47回線
アナログ	56K(K56Flex)	(デジタル47回線を共用)
モデムサポート	K56Flex, MINP 10-EC, MNP, V.42bis, V.34	

・K56Flexについて

MAX4048には、Series56デジタル・モデムが搭載されており、アナログおよびセルラー回線を介してダイヤルインする標準的なモデムを、すべてサポートしています。K56Flexベース (K56Flexとは、ロックウェル社とルーセント社が共同で開発したK56bpsのモデム仕様です。)のモデムを使用していれば、ダウンストリームで最大56Kbps、アップストリームで33.6Kbpsという高速モデム接続が可能です。Series56デジタル・モデムはx2クライアント・モデムと併用できますが、56Kbpsは実現できません。Series56モデムもx2モデムもフォールバック・プロトコルとしてV.34を採用しているため、33.6Kbps以下の通信速度で接続されます。

5. センターホームページ更新のお知らせ

総合情報処理センターでは、現在、www2.kobe-u.ac.jp/~ipc/において新ページを公開中です。

1か月程度の移行期間ののち、新ページがwww.kobe-u.ac.jp/~ipc/となります。新ページでは内容を見直し、ディレクトリ構造ごと新しくなったページもありますので、トップページ (www.kobe-u.ac.jp/~ipc/) 以外にリンクを張られている方はご注意ください。

また、内容更新は新ページの方で行っておりますのでご了承ください。

078-802-2750	078-802-2750	078-802-2750
078-802-2751	078-802-2751	078-802-2751
078-802-2752	078-802-2752	078-802-2752

078-802-2750	078-802-2750	078-802-2750
078-802-2751	078-802-2751	078-802-2751
078-802-2752	078-802-2752	078-802-2752